



小学校の外国語活動を通してめざすこと

今年度から必修（5,6年）となった外国語活動ですが、中学校の英語とはどう違うのでしょうか。

中学校の英語は教科ですが、外国語活動は教科ではなく、**教科書のない「活動」という位置づけ**です。中学校では英語を「聞く、話す、読む、書く」能力を身につけることが目標に示されていますが、小学校の外国語活動では「聞く、話す」活動を行います。外国語活動の目標は次のようになっています。

外国語活動
を通して

- ①言語や文化について**体験的に**理解を深め、
- ②**コミュニケーションを図ろうとする態度**の育成を図り、
- ③外国語の基本的な表現に**慣れ親しませながら**、

コミュニケーション
能力の素地を養う

つまり、外国語活動を通して、知識のみではなく、ゲームや歌など体験的な活動を通して先生や友達と触れ合ったり、外国の文化に気づいたり、英語表現に慣れ親しんだりしながら、進んで人と関わることのできる子どもを育てることをめざしているのです。



モライア先生のカレンダー紹介



6月のテーマは「サーカス」です。サーカスはアメリカの子ども達にとってもなじみ深いもので、町にやってきたサーカスを見に行ったり、学校がサーカス団を招いてショーを見せたりということが普通に行われているそうです。

日本語検定4級に挑戦中のモライア先生に負けないように、私達も進んで先生に日本のことを知らせたり、外国のことを尋ねたりしていきたいものですね！



「道案内をしよう」～6年1組の外国語活動の授業（6/15）

武富先生とモライア先生による6年間の小学校生活を通しての学校内のお気に入りの場所を紹介し合う活動が行われました。

まず、学校の教室の画像を見て、教室名を元気に発音した後、武富先生とモライア先生とのやりとりを聞いて教室を当てるビンゴゲームを行いました。教室名が分かるヒントに全員が耳を傾けながら、大いに盛り上がりました。

次に先生同士がお互いにモデルとなって「お気に入りの場所クイズ」を出し合い、質問者役の先生が拡大見取り図の上でコマを進めていきました。

その後、“Go straight.” や “Turn right.” などの指示の言葉を使って代表の子ども達が武富先生とのやりとりの中でそれぞれの「お気に入りの場所」をクラスみんなに紹介していきました。お気に入りの理由まで言うことで友達の新たな一面を知ることができた活動でもありました。



最後の振り返りでは「友達が教えてくれたから嬉しかった。」「道を教えるときに使いたい。」「英語は大切だと思う。」などの感想がたくさん出ました。

高学年の目指す子ども像である

ふれあいを大切にし、進んで伝えようとする子ども

の姿に近づいたのではないかと思われる授業でした。

